

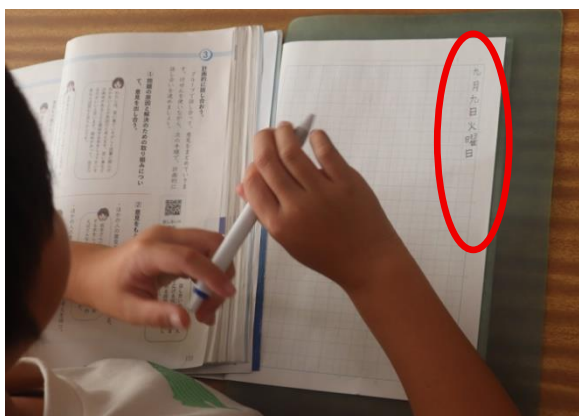


目指す 児童像

し自然に親しむやさしい子
じ自分で学び考える子
き気力・体力を高める子
小将来の夢をめざす子

令和7年 9月12日
平戸市立志々伎小学校
校長 山田 泰生
No.84

本校の研究について②



前号の続きです。

上の写真のノートには「九月九日（今日の日付）」を書かれています。振り返りができるように今日の日付を記入しています。

これは、元をたどると、文学者として知られる偉人ゲーテの習慣からきていると思われます。ゲーテは、「日々の価値」や「その瞬間への気付き」を強く意識して記録したことで、日記や旅行記などが、後世の文学史などの貴重な資料となっています。こういった先人の知恵を現代でも活用していることにロマンを感じます。

5・6年研究授業

9月11日（木）3校時に〇〇先生の研究授業を行いました。

学級活動で、議題は、「充実した会社を設立しよう」です。『友達の意見を尊重しながら、合意形成し、学級が楽しい場になるような係活

動ができるようする』ことがねらいです。この「合意形成」の過程が大切です。今後は、AIの進歩などの技術革新や人口減少等により、社会の様子が大きく変わり、予測困難な時代になるといわれています。そのような社会において、様々な問題について、当事者意識をもって、自分の意見を形成し、多様な他者と対話や合意を図ることが、今後さらに重要となってきます。



この授業では、あると学級が充実する係について、合意形成しながら、話し合いを進めました。すべての子が最低4回以上は発言していました。授業の最後に、〇〇先生が、学級会の流し方のポイントを説明し、司会を行った子たちの頑張りをねぎらいました。また、話の聞き方がよかったことを褒めました。今後は、月ごとに振り返りをする予定です。

